

PRESS RELEASE



2025年11月27日

報道機関 各位

「第108回海洋教育フォーラム」の開催について 浮体式洋上風力は、今、どこまで来ているのか？ ～世界と日本の動き、そして私たちの未来～

長崎大学が代表機関を務める「産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム（IACOW）※」は、日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会ほかと共に「第108回海洋教育フォーラム」を下記の要領で開催します。

海洋教育フォーラムは、日本の豊かな海の恵みを活かした海事産業や水産業の発展、海洋文化の持続的な保持を目的に、船や海に興味を持つ次世代を担う若者たちの育成と「海をよく知り、海に親しみを持ち、海を守り、海の豊かな恵みを利用すること」の啓発活動として国内各地で開催されています。

国の第7次エネルギー基本計画では、2040年までに再生可能エネルギーで全電源の4～5割を賄うこと、さらに2050年には脱炭素社会を実現することが目標として掲げられています。そして今年6月には、政府が洋上風力を再生可能エネルギーの切り札と位置付け、排他的経済水域（EEZ）でも洋上風力ファームの開発を可能にする法改正が行われました。

長崎は、全国に先駆けて浮体式洋上風力の事業化を進めているリーディング地域であり、事業者や若い世代の関心も高い地域です。本フォーラムでは、今後の拡大が期待される浮体式洋上風力発電について、国内外の技術開発や事業開発の状況を学び、脱炭素社会の実現や地域産業の振興について考えます。

報道機関各社様におかれましては、貴媒体にて本フォーラムをご紹介いただくとともに、当日の取材もご検討いただくようお願いします。取材をご希望の場合は、2025年12月12日（金）12時までに下記お問い合わせ先までご連絡願います。

記

日 時：2025年12月13日（土） 開場12:30 フォーラム13:00～17:15

会 場：出島メッセ長崎 コンベンションホール4（長崎市尾上町4-1）

対 象：高校生、高専生、大学生、大学院生、一般個人、企業、団体等

参 加 費：無料

開催方法：会場対面（150名）、同時オンライン配信あり

申込方法：下記フォームよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/D4hNh0kE3k>



【本リリースに関するお問い合わせ先】

産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム（IACOW）事務局

長崎大学 海洋未来イノベーション機構 OICN 拠点 担当／伊藤康子

TEL：095-800-4135 e-mail: iacow_jim@ml.nagasaki-u.ac.jp

【プログラム】

開会 13:00 挨拶 長崎大学 学長 永安 武

基調講演 「我が国の海上風力政策について（仮）」

資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課 風力事業推進室
室長 福岡 功慶

講演 1 「浮体式海上風力発電へのジャパンマリンユナイテッドの取り組み」

ジャパンマリンユナイテッド株式会社 海洋・エンジニアリング事業部
理事 秋永 清

講演 2 「海上風力・グローバルマーケットへのチャレンジ～日揮株式会社の取り組み～」

日揮株式会社 執行役員 本部長代行 工務統括本部 勝岡 洋一

講演 3 「海上風力発電の導入促進に資する次世代技術の開発～TLP型ハイブリッド浮体式海上風車
支持構造物の開発～」

株式会社大林組 理事 生産技術本部 統括部長 栗本 卓

総合討論 「浮体式海上風力へのチャレンジ・若い世代に向けて」

ファシリテーター：IACOW 副代表 森田 孝明

閉会 17:15

* 産学連携海上風力人材育成コンソーシアム (IACOW)

地元に海上風力の計画がある7大学とそのプロジェクトに関わる10発電事業者による
コンソーシアムで、将来の海上風力の発展に資する人材の育成に取り組んでいます。

ホームページ：<https://iacow-education.jp/>



(昨年長崎で開催した第99回海洋教育フォーラムの様子)



第108回 海洋教育フォーラム



開催テーマ

浮体式洋上風力は、今、どこまで来ているのか？ ～世界と日本の動き、そして私たちの未来～

参加無料

2025 12.13 SAT 13:00-17:35
開場 12:30

会場 出島メッセ長崎 2階 コンベンションホール
(長崎市尾上町4-1 JR長崎駅隣接)

オンライン同時配信の申込も受付中！

参加・オンライン視聴の申込はコチラから
(オンデマンド配信のお知らせメール予約)



主催

産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム(IACOW)/長崎大学、秋田大学、秋田県立大学、北九州市立大学、千葉大学、新潟大学、国際教養大学、東北公益文科大学、三菱商事洋上風力、JERA NEX BP、東京電力リニューアブルパワー、九電みらいエネルギー、中部電力、ENEOSリニューアブル・エネルギー、RWE、東北電力、住友商事、COP)、日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会、海洋教育フォーラム長崎地区実行委員会、長崎大学研究開発推進機構、長崎オープンイノベーション拠点、長崎大学海洋未来イノベーション機構、長崎総合科学大学 海洋エネルギー研究センター、株式会社ながさきMICE

後援 長崎県、長崎県教育庁、長崎海洋産業クラスター形成推進協議会
(長崎海洋アカデミー)、佐世保工業高等専門学校

協力 日本海事協会、エンジニアリング協会、WFO、Carbon Trust

※法人格表記省略



第108回 海洋教育フォーラム

浮体式洋上風力は、今、どこまで来ているのか？ ～世界と日本の動き、そして私たちの未来～

昨年6月、再エネ海域利用法の改正法が成立し、洋上風力発電設備をEEZにも設置可能とする法律が整備されるとともに、今年、2025年8月8日には、洋上風力産業ビジョン(第2次)として、政府と民間が一体となって取り組む「浮体式洋上風力等に関する産業戦略」が策定されました。今、欧州や東アジアを中心に、浮体式の洋上風力の拡大に向けた新たな動きが加速しています。

全国に先駆けて浮体式洋上風力の商用化が実現する長崎から、国内外の新たな動きを学び、私たちの未来を若い世代とともに考えます。

基調講演

我が国の洋上風力政策について(仮)

資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課 風力事業推進室 室長 福岡 功慶

講演①

浮体式洋上風力発電への ジャパンマリンユナイテッドの取り組み

ジャパンマリンユナイテッド株式会社
海洋・エンジニアリング事業部 理事 秋永 清

講演②

洋上風力・グローバルマーケットへのチャレンジ ～日揮株式会社の取り組み～

日揮株式会社 執行役員 本部長代行 工務統括本部 勝岡 洋一

講演③

浮体式洋上風力発電の導入促進に資する 次世代技術の開発 ～TLP型ハイブリッド浮体式洋上風車支持構造物の開発～

株式会社大林組 理事 生産技術本部 統括部長 栗本 卓

総合討論

浮体式洋上風力へのチャレンジ・若い世代に向けて

ファシリテーター IACOW 副代表 森田 孝明

- ・IACOWの取り組みと総合討論のねらい
- ・壇上の講演者と学生パネラー、そして会場の皆さんとの討論

もっと海を知れば、
もっと広い未来が
描けるはず。



プログラム

13:00	開会あいさつ
13:05	主催者あいさつ・活動紹介
13:25	基調講演
14:10	講演① 休憩10分
14:50	講演②
15:20	講演③ 休憩10分
16:00	総合討論
17:30	閉会あいさつ
18:15	閉場